

平成25年4月23日
東海旅客鉄道株式会社

歯車箱の一部破損の調査結果について

平成25年4月18日（木）、ひかり515号（700系16両編成、JR東海所属C50編成）にて、一部破損が発見された歯車箱について、浜松工場で解体調査を行いましたので、調査結果及び今後の対応についてお知らせいたします。

1. 調査内容 C50編成10号車No. 1台車の解体調査
2. 調査結果
（別紙1） ・歯車箱において既発表の破損（大歯車側）の他に、小歯車側にも破損が認められ、また、小歯車軸受や継手等にも傷が認められました。
3. 推定原因
（別紙2） ・小歯車軸受のコロを保持する部品（保持器）が破損したことで、軸受のコロが脱落しました。
・歯車箱の大歯車側の破損については、脱落したコロが歯車箱のすき間に入り込み、大歯車に噛み込んで、破損に至ったものと思われます。
・小歯車側の破損については、小歯車軸受の保持器が破損したことにより、小歯車が振れ回り、歯車箱と接触したことで、破損に至ったものと思われます。
・各部品の取付状態、潤滑油の状況、及び検査記録表の内容により、当社のメンテナンス過程には問題ないことを確認しており、当該保持器本体側に欠陥があったものと思われます。この保持器の破損原因については、製造メーカーで引き続き調査しています。
4. 今後の対応 ・同一ロットの小歯車軸受については、良好なものに取替を進めて参ります。
・なお、取替までの間、小歯車軸受の健全性を確認するため、歯車箱の磁気栓検査と油分析を行い、同種事象の発生を未然に防止します。

歯車箱の損傷状態



